

「データドリブンスタディーズ」クラスファイルの使用法



図 1 図の例

情報 太郎¹ 情報 花子²

和文アブストラクトを記載してください。英文アブストラクトは不要です。

1 クラスファイル

「データドリブンスタディーズ」のクラスファイルは dds.cls です。和文論文の場合、冒頭で

```
\documentclass{dds}
```

と記述してください。

2 論文種別

「データドリブンスタディーズ」には 4 つの論文種別があります。

1. 一般論文
2. データ論文
3. サーベイ論文
4. 特別寄稿

適切なカテゴリ番号を

```
\Category{1}
```

などと指定してください。

3 巻・論文番号など

論文の巻、論文番号、発行年月は以下で指定します。

```
\Volume{1}
\ArticleNumber{1}
\Year{2023}
\Month{3}
```

記入内容については、編集委員会の指示を仰いでください。新規投稿時には、これらの値はそのままにしておいてください。

4 論文タイトル

論文のタイトルは

```
\title{論文タイトル}
```

と記述します。英文タイトルは不要です。

5 著者情報

著者情報の記載例は次のようになります。

```
\author
{情報 太郎}% 氏名
{3}% 会員種別
{DBSJ 大学データ工学研究科}% 所属
{taro@sample.email.ac.jp}% メールアドレス
```

英文氏名は不要です。会員種別については、以下から適切な番号を選んでください。

1. 一般会員
2. 名誉会員
3. 学生会員
4. 非会員

メールアドレスについては、スパムメールなどを気にされる場合は、“taro AT sample.email.ac.jp”などの記述としていただいても構いません。

6 ページ数

「データドリブンスタディーズ」のページ数は原則 8 ページまでとなっています。投稿時には上限を超えないよう執筆してください。

なお、採録通知後、編集委員会からの指示によりページ数が 8 ページを超えた場合は問題としません。

また、サーベイ論文については 8 ページを超えたページ数の論文を受け付けることがありますので、論文誌編集委員会にご相談ください。

7 図と表

図は

```
\begin{figure}[t]
\centering
...
\caption{図の例}
\label{fig:sample}
\end{figure}
```

と記述します。図の例を図 1 に示します。

表は以下のように記述します。

```
\begin{table}[t]
\caption{表の例}
\label{tbl:sample}
\centering
```

¹ 学生会員 DBSJ 大学データ工学研究科
taro@sample.email.ac.jp

² 正会員 DBSJ 大学データ工学研究科
hanako@sample.email.ac.jp

表 1 表の例

(1, 1)	(1, 2-3)	
(2-3, 1)	(2, 2)	(2, 3)
	(3, 2)	(3, 3)

...

`\end{table}`

表の例を表 1 に示します。なお、**表のスタイルについては任意と**します。表 1 のスタイルに従う必要はありません。

8 参考文献

参考文献の箇所の例は以下のようになります。

```
\small
\bibliographystyle{plain}
\bibliography{reference}
```

引用の例は [?] となります。参考文献については `\small` によりフォントサイズを指定してください。なお、ここでは BibTeX のスタイルとして `plain` を用いていますが、**参考文献のスタイルは任意と**します。他のスタイルを用いていただいても構いません。

9 著者紹介

著者紹介は不要です。

10 節番号の例：第 1 レベル

節番号の例です。まずは第 1 レベル (`\section{...}`) です。

10.1 第 2 レベル

第 2 レベル (`\subsection{...}`) です。

10.1.1 第 3 レベル

第 3 レベル (`\subsubsection{...}`) です。

■**パラグラフ** パラグラフ (`\paragraph{...}`) です。